

その強固な構想力と完璧な芸術性に、脱帽。

ゾルタン・コチシュ (ピアニスト・作曲家)

ニコラス・ナモラーゼ

Nicolas Namoradze

ピアノコンサート

スクリャービン、J.S. バッハを軸に、それぞれに影響を受けた作品を並べた今回の演奏会。
前半最後の練習曲第6番は最後のハ長調の和音がスクリャービンOp.57-1への回帰を意味しており
後半も調性が回文的配置になっているという、こだわりのプログラム！

スクリャービン：2つの小品 Op.57

スクリャービン：ピアノ・ソナタ 第4番 嬰へ長調 Op.30

スクリャービン：8つの練習曲 Op.42

ナモラーゼ：練習曲 第1番・第6番

J.S. バッハ：フランス組曲 第1番 二短調 BWV812

J.S. バッハ：フランス組曲 第5番 ト長調 BWV816

バッハ＝ブゾーニ：われ汝に呼ばれる、主イエス・キリストよ

リスト：死の舞踏 二短調 S.525

2020年 6月11日(木) 13:30 開演(13:00開場) 一般自由席 ¥2,000

チャリティシート(=指定席)設定公演 A列 7番～17番・B列 7番～18番 ¥2,200

※「チャリティシート」のチケットは、宗次ホールチケットセンターのみで取扱いとなります。

チケットのお求めは
12月15日(日)
10時より 販売開始
発売初日はお電話受付のみ

宗次ホールチケットセンター TEL:052 (265) 1718

チケットぴあ TEL:0570 (02) 9999 [Pコード:172-567]

※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。



くらしの中にクラシック
宗次ホール
Munetsugu Hall

営業時間:10:00～16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業

ニコラス・ナモラーゼ Nicolas Namoradze



桁外れの芸術家…！

エマニュエル・アックス (ピアニスト)

比類なきピアニストの中のピアニスト

カルガリー・ヘラルド紙

ピアニストと作曲家という二つの顔をもつニコラス・ナモラーゼは、2018年カナダ・カルガリーにて開催されたホーネンズ国際ピアノコンクールで優勝し、国際的に注目される存在となった。カルガリー・ヘラルド紙において「比類のない」「ピアニストの中のピアニスト」「磨き上げられた彼の演奏はすでに国際的水準に達しており、その解釈はどこをとっても注目と称賛に値する」と高く評される。

2019年2月カーネギーホール ザンケルホールにてリサイタルデビュー (完売)。今後、ウィグモアホール (ロンドン)、ガードナー美術館 (ボストン)、コンツェルトハウス・ベルリンでのソロリサイタル、ホーネンズ・ハイペリオン・スタインウェイ各レーベルでのCD録音、ロンドン・フィルとの共演、ルール・ピアノ・フェスティバル (独)、サンタフェ室内楽音楽祭 (米)、マイアミ国際ピアノ音楽祭 (米)、バンフセンター (加) への出演などが予定されている。

現代音楽や一般には知られていないピアノ曲への関心も高く、ゴドフスキー「ショパンのエチュードによる練習曲」やリゲティ「練習曲」、稀にしか演奏されないドヴォルジャーク「ピアノ協奏曲」などをはじめ、現代作曲家による作品を組み入れたユニークでエキサイティングなプログラムにも精力的に取り組んでいる。

作曲家としても広く活躍し、現代美術家のファビエンヌ・ヴェルディエの映像作品「Walking Painting」やエクサン・プロヴァンス音楽祭 (仏) に関連して制作されたショートフィルム「Nuit d'Opéra à Aix」にも参加。

ブダペスト、ウィーン、フィレンツェにて学部課程を卒業後、ニューヨーク・ジュリアード音楽院修士課程に入学。現在ニューヨーク市立大学大学院センター博士課程に奨学金を得て在籍。これまでに、ピアノをエマニュエル・アックス、ヨヘヴェド・カプリンスキー、ゾルタン・コチシュ、マッティ・レカッリオ、エリソ・ヴィルサラゼ各氏に、作曲をジョン・コリリアーノ氏に師事。



2019年のデビュー公演で、その素晴らしさがツイッターで話題に！

- ★ ナモラーゼさんの演奏があまりに良いので、宗次の近くに住んでいる音楽仲間を電話で呼んだんだって！2曲目に間に合ったとか。
- ★ 自作曲も当然初耳ですが、とても良かった。某クラシック愛好会に行ったら、そこでもナモラーゼさん大絶賛でした。
- ★ 今年聴き逃して悔しい〜の筆頭がナモラーゼ。せっかく名古屋に来てくれたのに…涙

【プログラムについて】 ニコラス・ナモラーゼ

“Influence (影響)”と題した今回のプログラムでは、前半ではスクリャービン、後半ではJ.S.バッハを軸に据え、それぞれの後には彼らに影響を受けた作曲家の作品を演奏致します。

前半はスクリャービンの作品の中でも、とりわけピアニスティックな技術とリズムの複雑さを追求した、精緻で実験的な作品を取り上げます。こうした彼のピアノにおける質感や響きに対する画期的なアプローチに強く啓発された自作の「練習曲I〜XI」が続きます。

後半は、J.S.バッハの「フランス組曲」の中から、厳粛な『第1番』と快活で煌々ような『第5番』、そしてバロック音楽とロマン派音楽を繋げる役割としてブゾーニ編曲によるJ.S.バッハ「コラール前奏曲 われ汝によばわる、主イエス・キリストよ」を据え、リストの「死の舞踏」で締めくくります。この陰鬱な作品では、構成や対位法という点において、伝統的で古風ともいえる方法が用いられており、音楽史上最も革新的とされるリストでさえも、バッハなどの過去の偉大な作曲家たちに大きな影響を受けていることを示しているのです。

宗次ホール of 情報はこちら！

フォローお待ちしております



<https://www.facebook.com/munetsuguHall/>



他にも各SNSにて情報発信中！

♪ 随時更新中です

交通アクセス

地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL: 052 (265) 1715 FAX: 052 (265) 1716
E-mail: info@munetsuguhall.com
URL: www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間: 10:00〜16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業